

香川県の地震

令和8年（2026年）7月

香川県の地震活動

震央分布図、断面図	・・・	1
地震概況	・・・	2
香川県の地震表（震度1以上）	・・・	3
震度分布図	・・・	4

南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会調査結果

（令和8年（2026年）8月7日）	・・・	5
-------------------	-----	---

地震一口メモ

「令和8年熊本地震」について	・・・	6
----------------	-----	---

この資料の震源リスト・震源要素(緯度、経度、深さ、マグニチュード)は暫定値であり、後日再調査の上修正されることがあります。

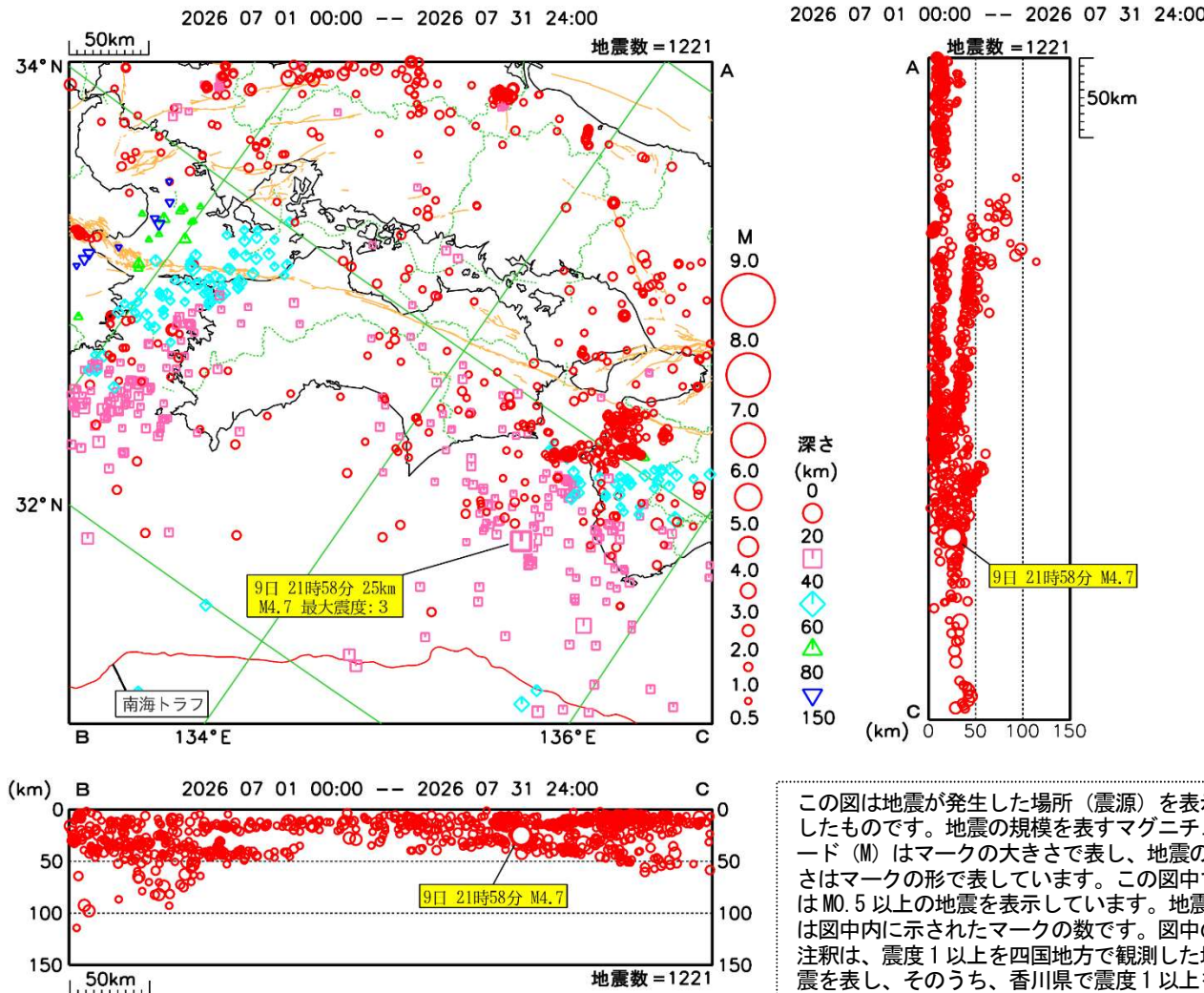
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

高松地方気象台

【香川県の地震活動】

2026 年 7 月

◎震央分布図、断面図



〔左上：震央分布図、右上：A-Cを投影面とした断面図、左下：B-Cを投影面とした断面図〕

◎地震概況

香川県で震度1以上を観測した地震は、次の3回でした（前月は1回）。

- 9日21時58分 和歌山県南方沖の地震（深さ25km、M4.7）により、土庄町・さぬき市で震度2を観測したほか、高松市・東かがわ市・直島町・小豆島町・坂出市・観音寺市・多度津町で震度1を観測しました。この地震では、和歌山県御坊市・みなべ町、徳島県美波町で震度3を観測したほか、東海・近畿・中国・四国地方にかけて震度2～1を観測しました。
- 28日16時27分 熊本県熊本地方の地震（深さ16km、M7.1：震央分布図地図範囲外）により、高松市・土庄町・坂出市・観音寺市・琴平町・多度津町・三豊市・まんのう町・綾川町で震度2を観測したほか、東かがわ市・さぬき市・丸亀市・善通寺市で震度1を観測しました。この地震では、熊本県宇城市・氷川町で震度7を観測したほか、九州地方から中部地方にかけて震度6強～1を観測しました。この地震は「令和8年熊本地震」と名称を定めています。
- 29日22時19分 熊本県天草・芦北地方の地震（深さ9km、M5.8：震央分布図地図範囲外）により、観音寺市で震度1を観測しました。この地震では、熊本県八代市・上天草市・天草市で震度5弱を観測したほか、近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度4～1を観測しました。

四国で震度1以上を観測した地震（上記の地震を除く）は、次の4回でした。

- 1日08時40分 宮崎県北部平野部の地震（深さ14km、M5.1：震央分布図地図範囲外）により、愛媛県宇和島市・八幡浜市・大洲市・伊方町・西予市、高知県黒潮町で震度2を観測したほか、愛媛県、高知県で震度1を観測しました。この地震では、宮崎県延岡市・日向市・西都市・川南町・都農町・門川町・美郷町で震度4を観測したほか、中国・九州地方で震度3～1を観測しました。
- 28日17時08分 熊本県天草・芦北地方の地震（深さ0km、M6.1：震央分布図地図範囲外）により、愛媛県伊方町、高知県宿毛市で震度2を観測したほか、愛媛県、高知県で震度1を観測しました。この地震では、熊本県八代市・美里町・芦北町・上天草市・天草市で震度5弱を観測したほか、中国・九州地方で震度4～1を観測しました。
- 28日23時01分 熊本県熊本地方の地震（深さ14km、M4.9：震央分布図地図範囲外）*により、高知県宿毛市で震度1を観測しました。この地震では、熊本県八代市・宇土市・美里町・宇城市・上天草市で震度4を観測したほか、中国・九州地方で震度3～1を観測しました。
- 30日05時16分 熊本県熊本地方の地震（深さ1km、M4.7：震央分布図地図範囲外）により、愛媛県伊方町、高知県宿毛市で震度1を観測しました。この地震では、熊本県八代市・氷川町で震度4を観測したほか、中国・九州地方で震度3～1を観測しました。

* ほぼ同時刻の28日23時01分に熊本県天草・芦北地方の地震（深さ11km、M3.4）が発生しましたが、震度の分離ができていません。

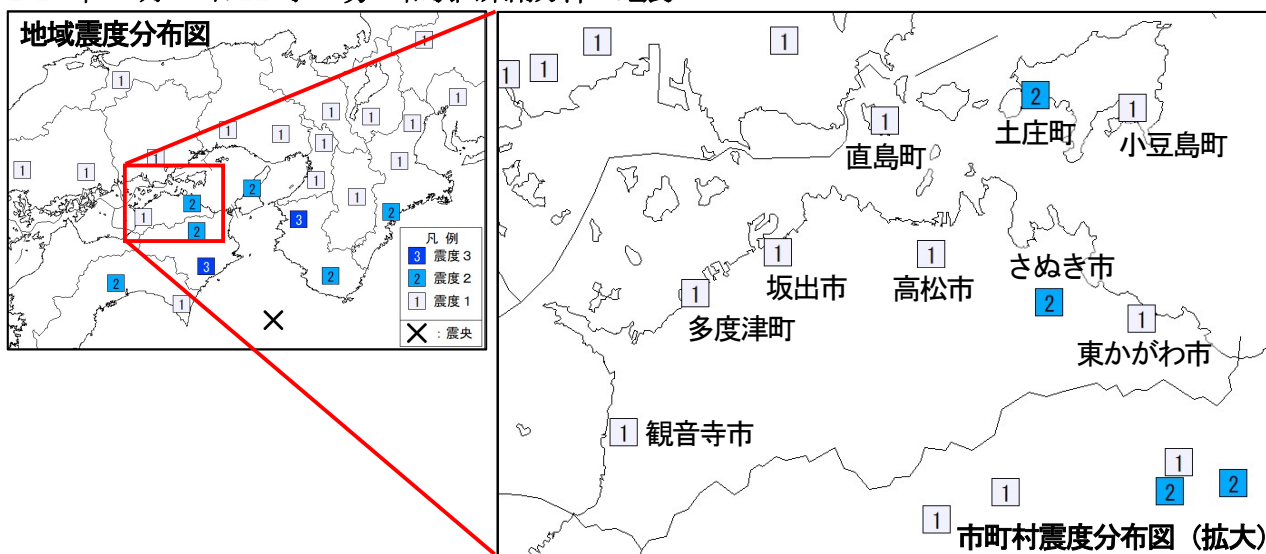
◎香川県の地震表（震度 1 以上）

震源時（年月日時分） 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2026 年 07 月 09 日 21 時 58 分 香川県	和歌山県南方沖	33° 17.8' N	135° 02.9' E	25km	M4.7
震度 2 : 土庄町淵崎, さぬき市寒川町*					
震度 1 : 高松市伏石町, 高松市扇町*, 高松市庵治町*, 高松市牟礼町*, 東かがわ市西村 東かがわ市南野*, 東かがわ市湊*, 直島町役場*, さぬき市長尾総合公園* さぬき市津田町*, 小豆島町馬木*, 坂出市久米町*, 観音寺市坂本町 観音寺市瀬戸町*, 多度津町家中					
2026 年 07 月 28 日 16 時 27 分 香川県	熊本県熊本地方	32° 37.5' N	130° 40.7' E	16km	M7.1
震度 2 : 高松市伏石町, 高松市扇町*, 高松市国分寺町*, 土庄町淵崎, 坂出市久米町* 観音寺市坂本町, 観音寺市瀬戸町*, 観音寺市大野原町*, 観音寺市豊浜町* 琴平町榎井*, 多度津町家中, 多度津町栄町*, 三豊市豊中町*, 三豊市高瀬町* 三豊市三野町*, まんのう町吉野下*, 綾川町山田下*					
震度 1 : 高松空港, 高松市庵治町*, 東かがわ市西村, さぬき市長尾総合公園* さぬき市志度*, 丸亀市新田町*, 坂出市王越町, 善通寺市文京町* 三豊市山本町*, 三豊市詫間町*					
2026 年 07 月 29 日 22 時 19 分 香川県	熊本県天草・芦北地方	32° 22.8' N	130° 28.3' E	9km	M5.8
震度 1 : 観音寺市坂本町					

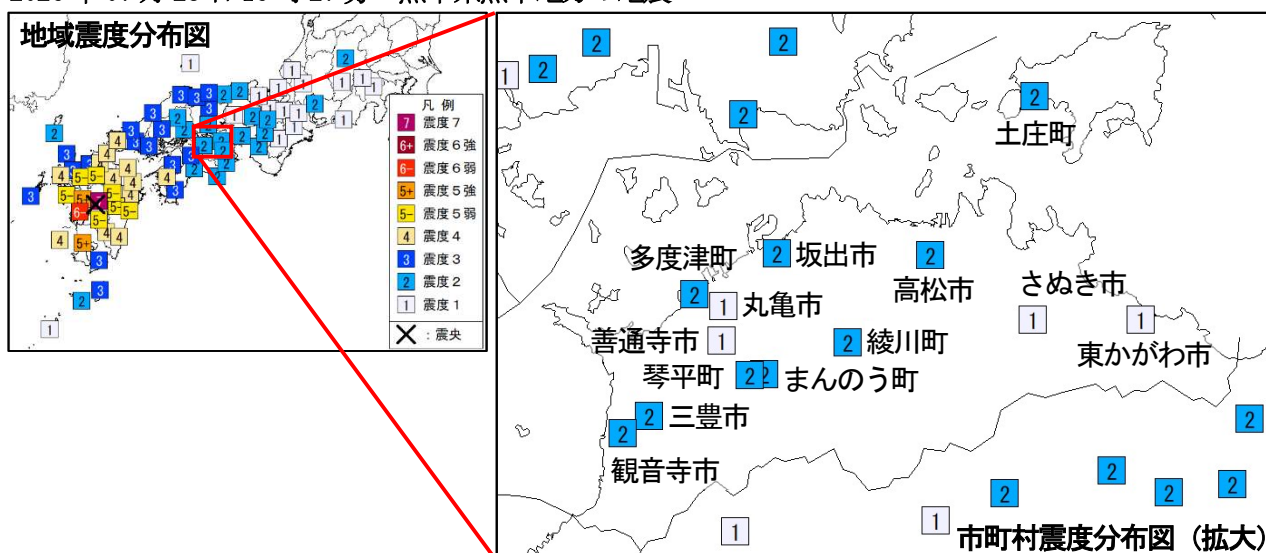
*は気象庁以外の震度観測点

◎震度分布図

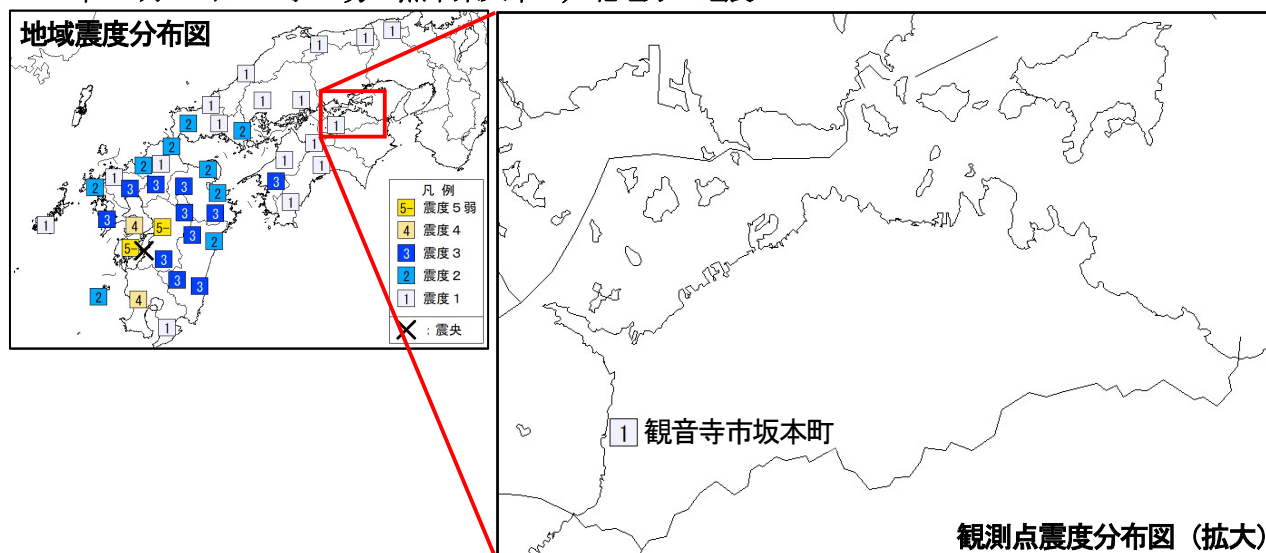
2026年07月09日21時58分 和歌山県南方沖の地震



2026年07月28日16時27分 熊本県熊本地方の地震



2026年07月29日22時19分 熊本県天草・芦北地方の地震



【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会調査結果】

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会を毎月開催しています。

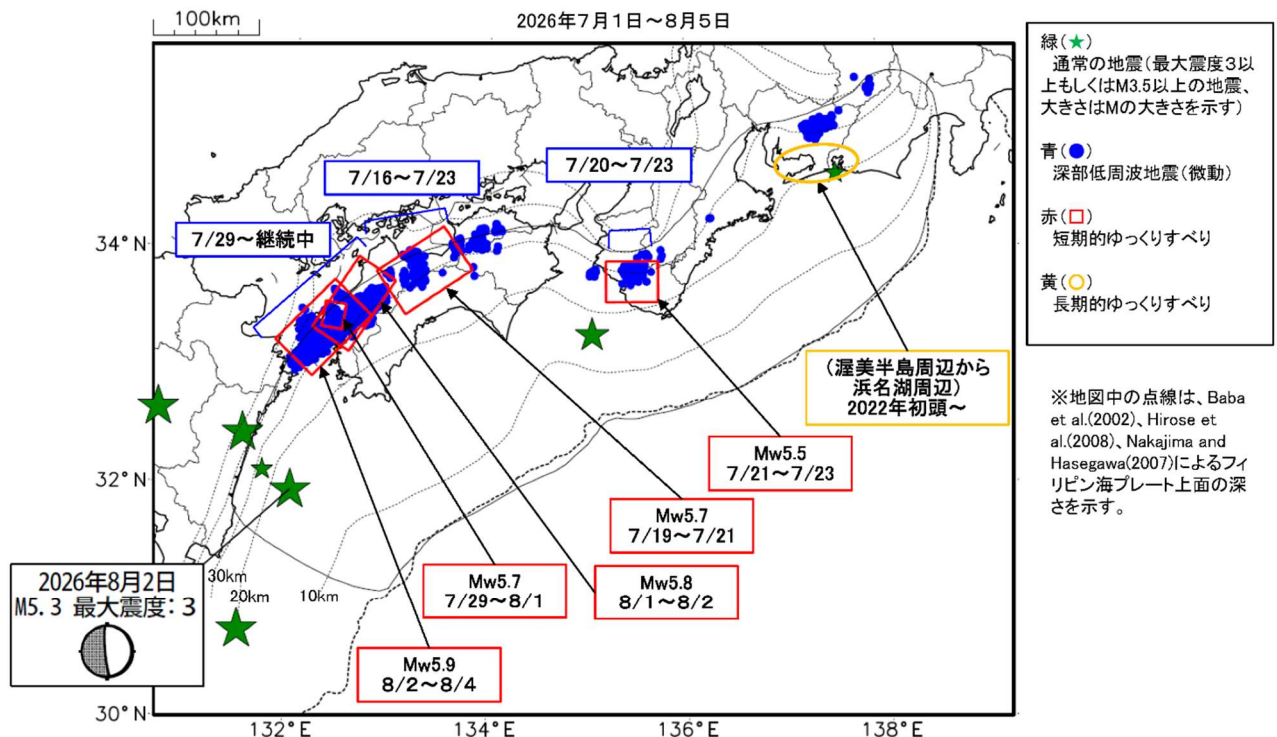
令和8年(2026年)8月7日に公表された評価検討会で評価された調査結果は次のとおりです。

【調査結果（概要）】

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時（注）と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

（注）南海トラフ沿いの大規模地震（M8からM9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率は高い（詳細は「南海トラフの地震活動の長期評価（第二版一部改訂）」参照）と評価されており、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

【最近の南海トラフ周辺の地殻活動】



通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
短期的ゆっくりすべり.....産業技術総合研究所の解析結果を示す。
長期的ゆっくりすべり.....国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

気象庁作成

上図の深部低周波地震（青●）、短期的ゆっくりすべり（赤□）、長期的ゆっくりすべり（黄○）について、これらの現象は、プレート境界の固着状況の変化を示す現象と考えられることから、気象庁は、関係機関の協力も得ながら注意深く監視しています。

なお、詳細は、次の気象庁報道発表資料をご参照ください。

南海トラフ地震関連解説情報について ー最近の南海トラフ周辺の地殻活動ー

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2608/07a/nt20260807.html>

また、最新の南海トラフ地震に関連する情報は次のページ（URL）をご参照ください。

ホーム>防災情報>南海トラフ地震関連情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/nteq/>

【地震一口メモ】

「令和8年熊本地震」について

2026年7月28日16時27分に、熊本県熊本地方の深さ16kmでM7.1の地震（最大震度7）が発生し、熊本県宇城市・氷川町で震度7を観測したほか、九州地方から中部地方にかけて震度6強～1を観測しました（香川県内の震度観測状況については、3～4ページを参照願います）。この地震の発震機構は、北北西－南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、地殻内で発生しました。

気象庁は、この地震について、名称を「令和8年熊本地震」と定めました。この名称は、今回の地震及びそれ以降に発生した一連の地震活動を指します。

この地震の震央周辺では、活発な地震活動が継続しており、M7.1の地震発生後の同日17時08分にM6.1の地震（最大震度5弱）、29日22時19分にM5.8の地震（最大震度5弱）が発生するなど、28日から8月1日にかけて震度5弱以上の地震が6回発生しています。

地震調査研究推進本部地震調査委員会は、「今回の地震活動域付近には布田川断層帯・日奈久断層帯が存在している。今回の地震活動は、日奈久断層帯の3つの区間（高野－白旗区間、日奈久区間、八代海区間）のうち、主に高野－白旗区間及び日奈久区間に沿って分布している。M7.1の震源断層は、日奈久断層帯の日奈久区間の北東部及び高野－白旗区間の一部に及んでいると考えられる。」と評価しています。

2000年10月以降の活動をみると、今回の地震活動域の周辺（領域a）では「平成28年（2016年）熊本地震」の発生以降、地震活動が活発となっていました。「平成28年（2016年）熊本地震」では、熊本県で死者275人、大分県で死者3人などの被害が生じています（熊本県の被害は2025年4月11日現在、熊本県による、その他は2019年4月12日現在、総務省消防庁による）。

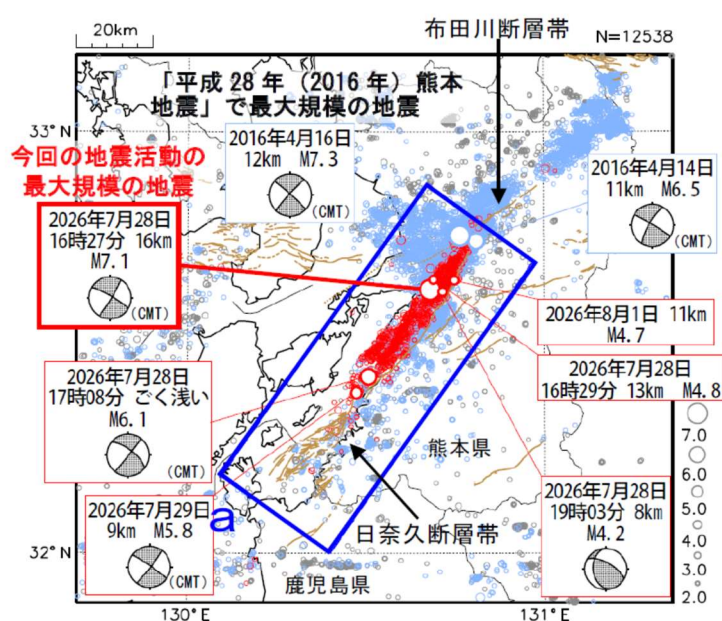


図1 震央分布図

(2000年10月1日～2026年8月1日)

深さ0～20km、M $\geq$ 2.0)

2016年4月14日21時より前に発生した地震を灰色○、
2016年4月14日21時から2026年7月28日16時までに発生した地震を水色○、

2026年7月28日16時以降の地震を赤色○で表示

茶色の実線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

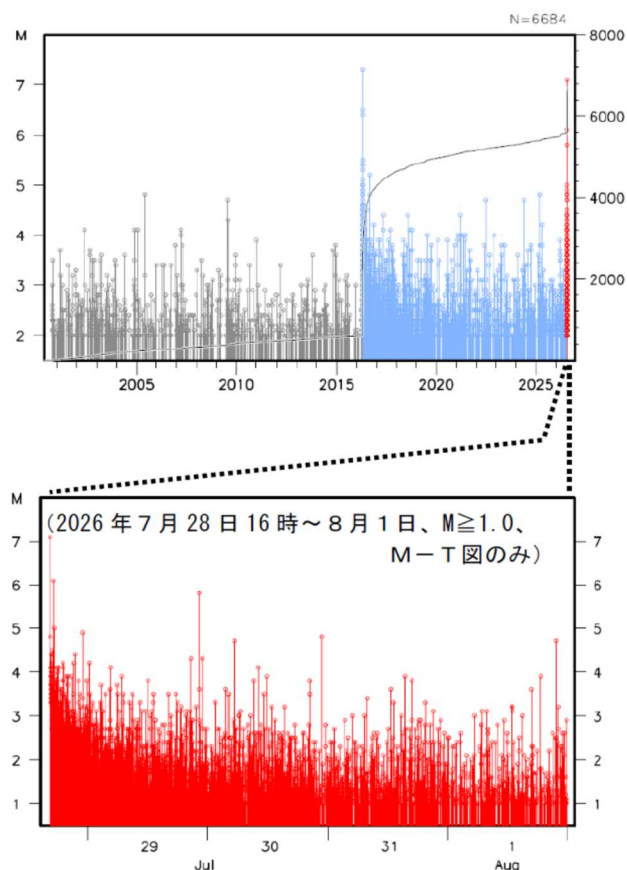


図2 領域a内のM-T図及び回数積算図

令和8年熊本地震 ポータルサイト:

https://www.jma.go.jp/jma/menu/20260728_kumamoto_jishin.html